

文化財ボランティア 火曜会通信

第 21 号

発行日：平成 16 年 4 月 1 日
発行：伊丹市文化財ボランティアの会
発行所：伊丹市千僧 1 丁目 1 番地
伊丹市教育委員会事務局内

会長の辞任にあたって

坂根 俊彦

8年間の活動で、まず文化財ボランティアの会（火曜会）の結成から進めたいと思います。平成8年3月に第1回ボランティア養成講座が終了し、4月に受講生有志25名で発会式を行いました。初代会長に土田さん、副会長に私が選ばれ、活動の柱として、毎月定例会を開催し、会員が各分科会で研修した内容を発表する枠組みが出来ました。

次には、文化財ガイド用に小冊子を作ることで、会員が各コース別に解説文を担当し、完成したものが、ふるさと探訪「文化財を訪ねて」で千部発行しましたが、好評のため約1カ年で再販いたしました。平成9年には土田さんが退任されたので、二代会長に就任しました。その後今日まで主な活動を振り返って見ますと、満3年目の平成11年4月に火曜会通信を発行したこと、創刊号に私の思いを述べさせていただきました。以来年4回の発行を行って来ました、今回21号の発行の運びとなりましたのは、当時から編集担当された服部さん、他皆さんの努力の賜物と感謝しています。

会の活動内容も分科会の研修から、ガイド活動に比重が多くなるきっかけは、平成13年7月から新町屋館内の旧岡田家住宅及び旧石橋家住宅の解説ガイドを団体で来館される方々におこなうようになり、また個人来館者の方にもと、曜日担当班を編成し対応したところ、会員の皆さんに大変な負担となりました。新年度から見直しを検討するよう申し送りをした次第です。また分科会を補間する活動として、「古文書勉強会」を毎月1回中尾さんに、また「パソコン同好会」を毎月3回齋藤さんに、それぞれご指導願ひ今日にいたっていますが、大変ご苦勞をおかけいたしました。この機会にお礼申し上げます。

ここ数年来、児童対象にいろいろな事業が行政からの依頼が多くなり、昨年12月には「土曜いきいき教室」の市教育員会事業として「しめ縄作り」を開催し、広報いたみや阪神ケーブルテレビに取り上げられました。

最後になりましたが、会員の皆様のご支援、ご協力により無事8年間の役員として全うできましたことを、この紙面をお借りしお礼の挨拶といたします。多謝

主な行事予定 定例会（4月～7月）

5月11日（火） 春季研修旅行事前勉強会

5月25日（火） 春季バス旅行

高田屋顕彰館その他 市役所出発 8時30分

6月8日（火） 分科会勉強会

7月13日（火） 研究発表会

「おはよう」、「おはようございます」、2月11日(祝日)の朝日が射し込む中、寒さを吹っ飛ばす元気な声が口酒井遺跡に響きました。伊丹市文化財愛護少年団の子供たちが三々五々集まってきたのです。

火曜会の学校外活動行事「土器づくり」、「しめ縄づくり」、「藁細工」等で使った藁の残りを処分しがてら「やきいも会」を催すことになりました。

埋蔵文化財口酒井事務所の空き地に藁と古材を積み上げ火を点けると、子供たちは、我先に、藁や古材を投げ込み、走りまわり、飽くことを知りません。子供って元々戸外の遊びが大好きだったと、今更ながら自分の幼き頃の遊びを振り返ったものです。芋の焼けるのを待ちながら、ゲームやクイズで楽しんでいる内に、ホイールに包んだ芋が置き火の中からほじくり出されました。



「熱っ、熱っ」と両手で持ってパクついている子もいます。そして、女性会員が用意した「焼きおにぎり」も別腹とばかりに、瞬く間に無くなりました。



今の子供たちは、昔のように野原や空き地で暗くなるまで泥だらけになって遊ぶことも少なくなり、チョッピリ可哀想と少々感傷的になった次第です。短い冬日の「どんど」の火も消え、芋もおにぎりも無くなり、満腹のお腹を抱えた子供たちは、灰のにおいだけを残していそいそと帰っていきました。

子供たちに今日の感想を聞くと「楽しかった」、「面白かった」と言ってくれました。子供たちが求めているもののうちのごく一部でも「今日の催しで役立つことが出来たかな？」という思いが残った一日でした。



参加者 文化財愛護少年団 22名
 設営 市教委 小長谷氏 佐藤氏
 火曜会 坂根 服部 柴田博 寺谷
 松本 森本 柴田久 藤本
 酒井

Q & A コーナー

Q 如来とはどういう仏ですか？ また、如来のモデルは誰で身に着けている衣は何というのですか？

A 如来は、「慈悲」の「慈」を表現している仏です。だから、菩薩とは違った厳しい表現となっています。例えば、宇治の平等院の阿弥陀如来は、優しい瞳でじっと私たちを見つめているというように説明されると、本当に優しく見えます。しかし、阿弥陀如来の本心は、「一度や二度の念仏では極楽へつれていけないぞ、何度でも南無阿弥陀仏と唱えろ」といいたいのです。そういう厳しさを持つのが如来なのです。

如来のモデルは、6年間山野をかけめぐって苦行した末、悟りを開いた釈尊の姿です。如来が身に着けている衣は「納衣(のうえ)」とありますが、「糞掃衣(ふんそうえ)」とも呼ばれ、便所を掃除するときに着る粗末な衣のことです。釈尊は、一枚の衣を身に着けただけで苦行をされたのです。そして、悟りを開いたとき衣は、つぎはぎだらけのぼろぼろとなっていました。如来の納衣は、それ自体が、いかに我々のために苦行されたかという慈悲心の表現となっているのです。
参考資料：西村公朝著「やさしい仏像の見方」

<リレー随想>

歴史の香りのする伊丹

小林 啓子

この会に入って文化財の勉強をはじめてみると、伊丹と言う町はこんなにも素晴らしい文化の財産を持ったところだったのかと、あらためて伊丹人としての幸せをかんじました。

1. 水辺に集う人の群れ あふれる川を塞ぎ止めて
命をつなぐ 池となる
時は流れて昆陽池は 水鳥群れる憩いの場
ああ 今もなお 歴史の香りの する伊丹
2. 行基菩薩を開基とし 丹塗りの門に白き塀
古刹にたたずむ 仏たち
時は流れて昆陽寺は 高架の脇にたたずめり
ああ 今もなお 歴史の香りの する伊丹
3. 天にそびゆる水煙と 法隆寺式大伽藍
門前、市を なしたろう
時は流れて基壇のみ 廃寺と呼ばれひっそりと
ああ 今もなお 歴史の香りの する伊丹
4. 雄大なりし惣構え 男のロマンが戦いの
垣塙と化して 夢と散る
時は流れて有岡は 城址となって幾星霜
ああ 今もなお 歴史の香りの する伊丹
5. 生をうけたる酒屋から余技ではじめた五七五
思うに任せぬ 武士の道
時は流れて鬼貫は 芭蕉とならび称せらる
ああ 今もなお 歴史の香りの する伊丹
6. 酒造り歌流れ行き 軒の杉玉青々と
黒光りする 蔵格子
時は流れて町は 老舗の暖簾どっしりと
ああ 今もなお 歴史の香りの する伊丹

活動報告（古文書に慣れる会）

原則として、第2火曜日午後1時30分から2時間30分ばかり、文化財ボランティア活動の一助と、個人的なカルチャの一環として、好學曲學の有志が、現在の伊丹市市域に残る近世（江戸時代）後期の村方文書などを、可能な限り自己流に読み解こうとして足掛け5年になりました。

その間輪読した資料は100点150枚を超え、内容は、往来手形、人別送り状、人別請取状、宗門送り状、新田中野村天保15年辰宗門帳覚（浄土宗）新田中野村村高家数数書上帳（慶応3年）などから、心中口書（寛政10午年）女奉公人風儀取締申渡書（近衛領）寛政6年奉公人給銀村々申合状（昆陽、千僧ほか）遊女愛之助の恋文等々。昨今は昆陽村文書として残存の、新撰組関連の5点と攝津名所図会（伊丹市域）を反復再読しておるものの、流暢に読み解き、眼光紙背に徹する境地とは、程遠い五里霧中、隔靴搔痒の現状です。

主な活動の記録（1月～3月）

< 郷町館ガイド >

1月20日（火）	奈良県田原本町健康づくり 推進員協議会	20名	担当火曜班
2月12日（木）	緑ヶ丘小学校4年	92名	担当木曜班
2月14日（土）	摂津市文化財愛護会（下見）	3名	担当土曜班
2月29日（日）	新日本婦人の会	13名	担当日曜班
3月5日（金）	伊丹市立有岡小学校3年生 西宮文化協会	110名 15名	担当金曜班 担当金曜班
3月19日（金）	伊丹市役所総務部総務課	24名	担当金曜班
3月24日（水）	伊丹市自治会連合会	80名	担当水曜班
3月26日（金）	着物仲間のオフ会	10名	担当金曜班

< その他 >

2月11日（水）	藁焼き・焼き芋会	20名	担当幹事
2月22日（日）	FMいたみ市民スタッフ「摂津のへそ」		担当 池田山内

編集後記

長年にわたり当会の発展に多大な寄与をされました坂根会長、柴田博副会長、また、当会運営に縁の下の力持ちとして持ち前のパワーを発揮して下さった幹事の柴田久氏、杉本氏が3月末で退任されました。この場をお借りして四氏のご苦勞をねぎらいますと共に、心から謝意を申し上げます。